外国人児童生徒等教育アドバイザー派遣結果報告書

都道府県名	長崎県	市町村名	長崎市	大学名			
	令和7年1月9	日(木曜日)	13 : 30 ~ 1	6:30			
	第 1 部:13:30~14:45						
	(対象:日本語指導教室指導者、教育相談員、大学関係者)						
	〇接続確認・日程確認						
	〇参加者自己紹介						
	〇日本語指導教室担当者と講師の事例研修						
派遣日	第2部:15:00~16:30						
	(対象:第1部参加者及び日本語指導が必要な児童生徒在籍校の管理職)						
	〇講義						
	〇質疑応答						
	※派遣当日の日程を詳細に記入してください。						
	※派遣当日の次第、研修実施要項・日程表等、日程の詳細が分かる資料を添付してく						
	ださい。						
実施方法	※いずれかにC	をつけてくだ	さい。	派遣	/	(遠隔)	
`C\# IB T	よいこ ノいきギ	•					
派遣場所	オンライン講義						
アドバイザ							
一氏名	福岡市立千早小学校 校長 西村綾子 様						
相談者	長崎市教育委員会 学校教育課 課長						
相談内容	本市では、外国にルーツのある児童生徒が増えており、言語も多国籍に及ぶ。児童						
	生徒一人ひとりの状況を把握し、きめ細やかな指導を行うために、福岡市の取組内容						
	を紹介いただきながら、長崎市の取組について様々なアドバイスをいただいた。						
	〇日本語指導教室指導者及び教育相談員への指導資料や使用教材についての助言						
	〇保護者との連携の在り方・連絡方法の工夫						
	〇日本語指導を行うための支援体制の確立						
	〇日本語指導と	教科学習につ	いて				
	○全国の状況						
	○福岡市の現状と取組						
	①日本語指導	を受けた児童	・生徒数の均	曽加につい	て		
派遣者から							
の指導助言							
内容	①子ども一人ひとりに応じた指導体制・環境の改善・指導方法の工夫が大切						
	②日本語指導担当教員の配置について						
	○受入れ体制の工夫						
	①受入れに向けての手引き等の作成・告知						

	②言葉に関するサポート、関係機関との連携					
	○受入れから指導・評価までの流れ					
	①面談・測定(来日し、相談に来られた時が大切。資料を英語にしたり、ルビを振					
	ったりすることで、面談をスムーズに行う準備を整える。)					
	②判断(既習経験があるか等を確認し、どの段階の日本語指導が適切なのか見極め					
	る。)					
	③指導計画作成(子どもの実態に応じて目標を設定したり、指導内容や教材等につ					
	いて決定したりする。)					
	④指導・評価(子ども自身の学びの姿を可視化し、学びの連続化を図るために記録					
	の共有をする。)					
	〇日本語指導の授業づくりに向けて					
	①日本語を使って学校生活を営むことができるようにすること。					
	②学年相当の学習言語を使って、日本語で学習活動へ参加できるようにすること。					
	○学習指導要領への位置づけ					
	〇日本語指導のプログラム					
	〇日本語指導例					
	○日本語指導の実際					
	○入り込み・在籍学級での指導					
	○教育のユニバーサルデザイン					
	〇日本語指導が必要な児童・生徒の受け入れ体制や日本語指導の実際について、各学 					
相談後の方	校の管理職の理解が深まった。					
針の変化、	〇日本語指導教室指導者や教育相談員は使用する教材教具や、保護者との連携の在り					
今後の取組	方についての助言を頂き、日々の指導に役立てている。					
方針等	〇指導主事は、日本語指導について理解を深めることができ、日本語指導に関する支					

1枚にまとめる必要はありませんので**詳細に**記載願います。

なお、本報告書の内容は、文部科学省ホームページで公開いたします。

援体制の強化及び市の事業予算の充実化を進めていく。